

環境報告書

2013

株式会社 エコポート九州



目次

1. トップメッセージ

02

2. 会社概要

企業情報……………03
許可・認証取得情報
基本方針……………04

3. 環境マネジメントシステム

05

4. 事業紹介

プラスチック一次選別事業……06
プラスチックマテリアル事業
木質ペレット製造事業…………07
RPF製造事業
機密書類溶解事業……………08
クレープ紙製造事業

5. 社会貢献

工場見学受け入れ……………09
くまもと環境フェア2013……10
展示会出展

6. 社内教育・訓練

11

7. 環境保全取り組み

再生可能エネルギー…………12
省エネルギー
環境測定

8. 目標と実績

13、14



1. トップメッセージ

再資源化の道を大きく切り拓く。

もはや循環型社会の構築や地球環境の保全は、我が国だけでなく地球規模における人類最大のテーマとなっており、地球環境への負荷軽減は、全ての人類が等しく負わなければならない責任となっています。こうした時代にあって、私たちの使命はかけがえのない地球環境を子供達に、さらにその先の未来まで健やかなままで引き継いでいくことと考えられます。

環境事業分野においても資源処理技術は日に日に進歩しており、従来廃棄物として処理されていた物も、最新技術や最新鋭の機器の導入により、再資源化の道が大きく開けてきております。

今回のエコポート九州の事業においては、これまで分別が困難と思われていた樹脂を光学選別機による素材自動選別、洗浄、再生ペレット化まで再資源化する『プラスチックマテリアル事業』、個人情報保護法の施行や企業のコンプライアンス（CSR）が問われる現代のIT社会に氾濫する膨大な情報や機密文書をよりスピーディーにセキュリティとリサイクル化を両立させた『機密文書の溶解処理事業』、資源の枯渇防止と脱化石燃料を促進させる廃棄物エネルギーとして木質系廃材や森林を守る為の林地残材の有効利用からの『木質ペレット製造事業』複合素材プラスチック等のマテリアル化が困難な樹脂からの『RPF製造事業』などの地球環境にやさしい廃棄物処理・再資源化の新しい分野に取り組んでまいります。

最後に、本事業の創業にあたり、熊本県、熊本市等の各行政及び関係者の皆様方のご支援に厚く御礼申し上げますとともに、誘致企業としての責任と自覚のもと、地域社会の環境保全活動に貢献し、最新の環境保全技術を熊本より全国に発信できる企業となる様、努力邁進してまいります。

代表取締役社長
石坂 孝光



2. 会社概要

企業情報

商号	株式会社エコポート九州
所在地	熊本県熊本市西区新港1丁目4番10
設立	平成19年10月19日
代表取締役社長	石坂 孝光
資本金	490,000千円
従業員数	109名（平成25年度3月現在）
主製品	再生樹脂ペレット、古紙パルプ、クレープ紙、木質ペレット 木質原燃料、RPF（固形燃料）、古紙

許可・認証取得情報

熊本市一般廃棄物処分業許可	第2-10号
熊本市産業廃棄物処分業許可	第08121155862号
熊本県産業廃棄物収集運搬許可	第04301155862号
熊本市産業廃棄物収集運搬許可	第08101155862号
ISO14001認証取得	No.E2121-ISO14001
ISO27001認証取得	No.I259-ISO/IEC27001



環境方針

株式会社エコポート九州は、廃棄物の再商品化事業及び原燃料の製造事業を通じ、循環型社会構築に貢献し、限りある資源とすばらしい地球環境を次世代に引き継ぐため、環境と調和の取れた企業活動を進めます。

1. 環境負荷の軽減と廃棄物の限りない有効利用を重視し、事業活動に努めます。
2. 事業活動における環境影響を随時把握し、特に以下の項目については優先的に活動し、継続的改善及び汚染の予防に努めます。
 - ① 水・電気等の資源エネルギーの有効活用に努め、使用量の抑制を図ります。
 - ② 自然エネルギーを有効活用します。
 - ③ リサイクル化・リユース化を推進し、廃棄物の発生を抑制します。
 - ④ 有害物質の適正処理を推進し、対外放出の削減に努めます。
 - ⑤ 排水の環境改善と適切な管理を図り、汚水の発生を抑制します。
3. 環境関連法規及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、社内環境整備に努め、高品質な再資源化と再商品化を目指し、循環型社会の一翼を狙います。
4. 環境企業として社会的責任を果たす為、環境教育の現場として施設の一般公開・見学・体験学習等を積極的に推進します。
5. この環境方針を、全従業員に周知するとともに、一般の方に公開します。

ISMS基本方針

株式会社エコポート九州は、廃棄物の再商品化事業及び原燃料の製造事業を通じ、循環型社会の構築に貢献します。

当社は、事業活動で取り扱う情報資産のセキュリティ確保はもとより、廃棄物等に含まれる情報のセキュリティ確保が極めて重要な責務であることを認識し、以下の通り情報セキュリティ基本方針を定めます。

情報セキュリティ基本方針

1. 情報資産の機密性、完全性及び可能性を確実に保護するため、組織的、技術的に適切な対策を講じ、必要な情報が必要なときに利用できるようにします。
2. 情報セキュリティに関する法令、規則及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 経営者、従業員及び協力会社等の従業員が、情報資産の重要性を十分に認識するように、必要な教育・訓練を実施します。
4. 基本方針及び関連する諸規則、管理体制の評価と見直しを定期的に行い、情報セキュリティの継続的な改善を図ります。
5. この基本方針を、全従業員に周知するとともに、一般の方に公開します。

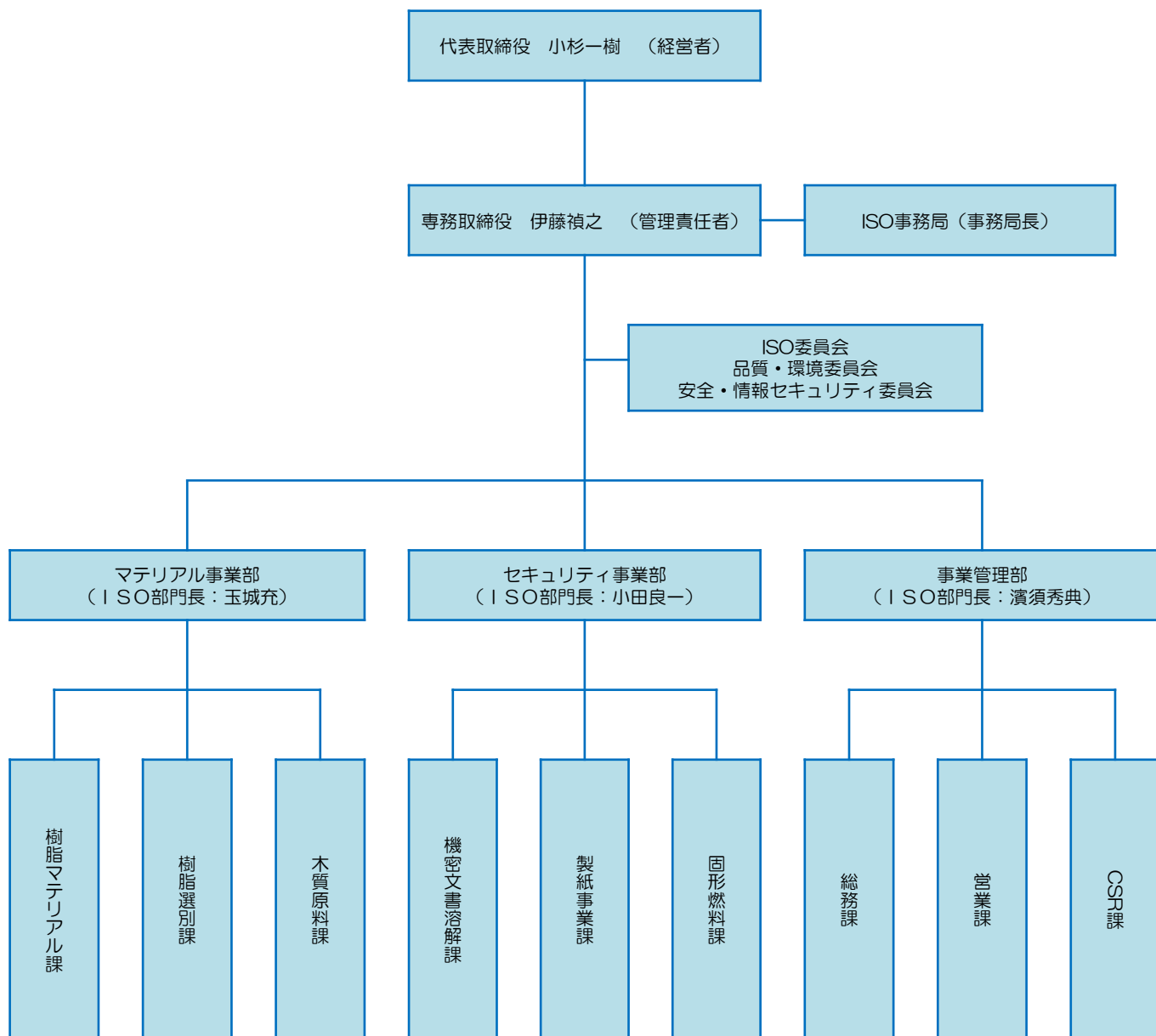
制定：2010年4月1日



代表取締役

小杉 一樹

3. 環境マネジメントシステム



4. 事業紹介

プラスチック一次選別事業

市町村や民間企業から排出されるプラスチック系容器包装を選別し、プラスチック素材以外の紙くずや金属くず等を取り除き、プラスチック製容器包装類のみプレス機にて圧縮梱包し、廃プラスチックボール品を生産しています。



Point
1

専用機器の導入により、通常手作業だけでは正確に選別することが難しいプラスチック系容器包装を正確にかつ迅速に選別し、圧縮梱包することができます。

Point
2

正確に選別することで、廃プラスチックボール品の品質を向上させ、再資源化される容器包装プラスチック類のロスを減少させます。



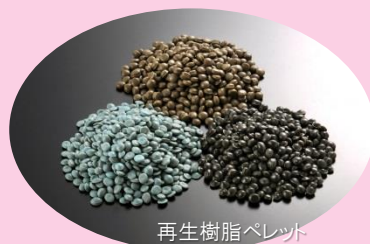
一次選別棟



マテリアル棟

プラスチックマテリアル事業

使用済みの容器包装プラスチック類を最新鋭のプラスチック自動選別機によりプラスチックを素材毎に選別し、アグロメと呼ばれるプラスチック減容品とペレットと呼ばれる再生樹脂原料を生産しています。



Point
1

最新鋭のプラスチック光学式選別機7台により素材が混合した廃プラスチック原料から、PE（ポリエチレン）やPP（ポリプロピレン）、PS（ポリスチレン）等の単一素材のプラスチックを自動的に抽出することができます。

Point
2

温水洗浄システムの導入により、廃プラスチックに付着している油分や不純物を徹底的に洗浄し再生樹脂の品質を向上させます。

Point
3

生産される製品は、高純度の単一素材樹脂のため、従来の混合樹脂ペレットでは再利用化の用途が限られていたのに対し、より機能的に多種のプラスチック製品へとリサイクルすることが可能となります。



木質ペレット製造事業

木質ペレットとは、廃木材（新築廃材・解体材・間伐材）などを破砕した木質チップを原料に作られるバイオマス燃料です。主に家庭用のペレットストーブ燃料や電力会社の発電燃料などにも利用されています。



木質ペレット

Point 1

木質ペレットを燃やす時に出る二酸化炭素は、樹木が成長するときに吸収した二酸化炭素のみのため、化石燃料のように大気中の二酸化炭素量を増加させることはありません。

Point 2

再生可能なバイオマスエネルギーであるため、環境負荷が少なく資源の有効利用にもつながります。

Point 3

小さな円筒状に成型加工しているため、形状・品質が均一化され、安定した熱量を有しています。また、通常の木材チップに比べ水分率が低いため着火性に優れ、長期間の貯蔵にも長けています。



←弊社食堂に設置しているペレットストーブ



R P F 製造事業

RPFとは廃プラスチック類、木くず、紙くず等から作られる固形燃料です。各製造業の燃料コスト削減や二酸化炭素排出量の低減のために産業廃棄物を原料としてサーマルリサイクルするためのシステムです。



RPF(固形燃料)

Point 1

RPFは石炭と比べ、同じ燃料回収時に約30%の二酸化炭素排出量を低減できます。RPFを利用することで、化石燃料の使用を抑制し、有限である資源の延命に貢献できます。

Point 2

自社から排出される廃棄物もRPF化することにより、ゼロエミッション工場を目指しています。

Point 3

RPFを製品化する上で問題となる塩素系プラスチックを除去するために、光学式選別機を導入。自動的に判別、除去し、RPFの製品品質を向上させることができます。



機密書類溶解処理事業

官公庁や民間企業から排出される機密書類や個人情報を含む書類を最新鋭のセキュリティシステムと監視カメラ下において、安全・迅速に情報を滅却し、且つ再生資源として、製紙原料となる「古紙パルプ」を生産しています。



古紙パルプ

Point 1

工場出入口と溶解処理工場出入口に警備員を常駐させ、搬出入車両を管理し、不審者の侵入を防ぎます。また、警備員常駐所には、監視カメラモニターを設置し、常に出入口および工場内を監視しています。

Point 2

機密文書溶解処理工場の出入口には、指紋認証装置が設置されており許可権限のない者の出入りを制限しています。また、開閉場所、開閉時刻、実行者の情報が全て管理端末に記録されます。



Point 3

立会室を完備していますので、処理状況をお客様に直接確認して頂くことができます。また、時間当たり約3〜5トンの書類を溶解することができるため、処理時間を大幅に短縮することが可能です。



製紙・溶解棟

クレープ紙製造事業

一部の機密書類や新聞古紙を原料にクレープ紙と呼ばれる緩衝紙を製造しています。クレープ紙は陶器を梱包する際や、引越しの荷造り、通信販売の商品梱包時などに荷物を保護する目的で利用されます。



クレープ紙



Point 1

通常紙を生産するときに原料として利用されるバージンパルプを一切使用せず、100%リサイクル原料で製造するため、環境負荷が少ない製品です。

Point 2

緩衝材の主流であるプラスチック製のエアキャップなどに比べ、コストが低く安価でご提供することができます。また、規格サイズへの裁断は丁寧に手作業で行っているため、サイズバリエーションも豊富です。

5. 社会貢献

工場見学受け入れ

企業の方に限らず、一般の方の工場見学も実施しています！

平成25年度には、合計1,336名の方が来社されました。九州全域はもちろん日本全国、遠方からも多くの方々に見学に来て頂きました。
海外からの見学も受け入れており、本年度はJICAの研修の一環として、海外の研修生もいらっしゃいました。

また、企業の方に限らず一般の方のご見学も多く、大学のゼミの研修や高校生の企業見学、小学生の社会科見学なども増えてきております。

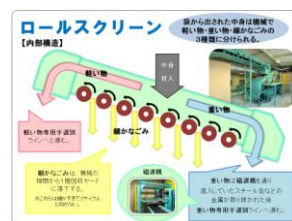
当社の工場見学は、ご家庭から出されたプラスチックごみを選別する様子や、機械を使ってプラスチックを素材別に分けていく様子を間近で見て頂くことができます。
また、小さなお子様にもわかりやすいよう、図やイラストをまじえたパネルなどを使った説明も行っております。



■工場見学の様子



■工場内のパネル



機密書類溶解処理「エコパル」工場見学会も行っています！

機密書類溶解処理「エコパル」システムにおいては、より多くの方々にエコパルシステムのメリットを知って頂くために、工場見学会を開催しています。

エコパル工場見学会では、民間企業及び、行政機関の方々にご見学に来て頂きました。

普段はなかなか見て頂く事ができない溶解処理の様子を、間近で見て頂きました。



■エコパル見学会の様子

わくわく江津湖フェスタ2013 「TKUの日」「環境フェア」

平成25年5月11日・12日（TKUの日）18日・19日（環境フェア）に熊本市動植物園にて、国連生命の水最優秀賞受賞記念 わくわく江津湖フェスタ2013が開催され、エコポート九州もブースを出展しました。

ブースではご家族連れの方をはじめ、たくさんの方々に、「機密書類」を原料とした古紙パルプを使って手作りハガキ作りを体験して頂きました。

また、熊本市の皆さんが出したプラスチックごみがどのようにリサイクルされているかをパネルやサンプルを使ってご紹介しました。



■「わくわく江津湖フェスタ」の様子

展 示 会 出 展

より多くの皆様に弊社のことを知って頂きたい！

平成26年2月13日・14日に、肥後銀行・熊本産業文化振興株式会社主催の『2014くまもと産業ビジネスフェア』に出展しました。

ブース内では、会社概要のほか機密書類溶解処理について、模型やパネルを使ってわかりやすくご説明したり、処理映像をご覧になって頂きました。

フェアには企業の方はもちろん、一般の方など様々な方がご来場され、エコポート九州のブースも多くの方にご覧頂く事ができました。

又、機密溶解処理に関してのセミナーも開催し、関心のある方々が集まって下さり、処理の流れなどの説明を真剣に聞き入っていらっしゃいました。

■エコポート九州のブースと
セミナーの様子



6. 社内教育・訓練

各 委 員 会

定期的に委員会を開催し、より良い職場作りに励んでいます！

安全・情報セキュリティ委員会

毎月1回開催しております。本委員会は、委員長、副委員長、衛生管理者、書記係、広報係、教育係、保健係（産業医）、美化係、KY・RA係、事故処理係を執行部とし、会社内外における労働安全を第一に考えてより良い会社づくり、社員が働きやすい職場づくりを目指すことを目的として活動しています。

品質・環境管理委員会

毎月1回開催しております。本委員会は、循環型社会の形成に寄与し、リサイクル事業における高度な品質水準の製品を提供することを目的として活動しています。

また、事務所2階には分析室を設けており、日々の製品の品質管理を行っています。



■製品分析の様子

ISO委員会

毎月1回開催しております。本委員会は、環境マネジメントシステム、情報マネジメントシステムの、計画・実施・維持に関する事項の審議を行い、関連する情報を従業員に発信する役割を担っています。

教 育 ・ 訓 練

講習会や勉強会を実施し、安全に業務ができるよう取り組んでいます！

教育・訓練

年間教育計画に従って、廃棄物処理知識に関する講習会、避難訓練、ISO認証取得事業者であることの自覚教育を目的とした勉強会及び力量向上のための教育を行っています。

また、入社時に労働安全教育、機械設備の運転管理教育等を行い、安全に業務に従事できる体制づくりに取り組んでいます。



■入社教育の様子

7. 環境保全取り組み

再生可能エネルギー

敷地内に風力発電、工場棟屋根に太陽光発電を設置！



エコポート九州には、風力発電と太陽光発電の2つ自家発電設備があります。計210kWの再生可能エネルギーの発電が可能であり、どちらの設備も発電量がわかるようにシステム（電力量の見える化）を導入しています。

風力発電

エコポート九州のシンボルタワーともなる風力発電設備です。港の強い風を利用して最大、10kw発電が可能です。

3棟の工場棟の屋根には、1600枚の太陽光発電パネルを設置しています。

最大200kwの発電が可能で、事務所棟や計量棟の電力をまかなえる程の電力に相当します。

太陽光発電



省エネ対策

LED照明やセンサーライトで省エネ！

使用電力削減のため、LED照明とセンサーライトを導入。外構スペースにはLED太陽光街灯を設置しています。また、スイッチを細かく分けることにより、広い部屋や工場内で照明を必要としている部分だけを点灯することが可能となり、節電することができます。



環境測定

定期的に環境測定実施！

各種環境測定を定期的
に実施し、基準を満足し
ていることを確認した上
で事業を行っています。

- *騒音測定
 - *振動測定
 - *排水測定
- など

8. 目標と実績

INPUT

エネルギー

電力 (kWh)	10,906,620.0
うち自家発電(太陽光) (m³):	246,998.9
※(風力) (m³):	743.5
軽油 (L)	63,931
ガソリン (L)	4,667
重油 (L)	13,225
灯油 (L)	15,053

原料類

プラスチック一次選別棟(t)	2,889
プラスチックマテリアル棟(t)	15,917
木質ペレット棟(t)	91
機密書類溶解棟(t)	1,825
クレープ紙棟(t)	73
RPF棟(t)	5,833
計 (t)	26,628

水資源

井水 (m³)	29,287.0
上水 (m³)	1,115.0

OUTPUT

二酸化炭素排出

二酸化炭素 (t-CO ₂)	4074.99
----------------------------	---------

排水

排水 (m³)	13,394.3
---------	----------

残渣

残渣 (t)	107.5
--------	-------

リサイクル率
99.6%

製品

プラスチック再資源化製品 (t)	8,090
木質ペレット (t)	74
古紙パルプ (t)	2,367
クレープ紙 (t)	73
RPF (t)	5,782



※ 本年落雷による故障により、計量棟無人の際は電源をOFFにする対策をしておりますので、例年と比べ発電量は減っています。

プラント別 環境目標達成度

		プラスチック 一次選別棟	プラスチック マテリアル棟
二酸化炭素排出量 (t-CO ₂ /処理量)	目標値	0.035	0.391
	実績/達成度	0.027 ◎	0.194 ◎
水資源使用量 (m ³ /処理量)	目標値	数値管理のみ	2.21
	実績/達成度	0.13 -	0.65 ◎

		木質ペレット棟	機密書類溶解棟 クレープ紙棟	RPF棟
二酸化炭素排出量 (t-CO ₂ /出荷量)	目標値	数値管理のみ	0.033	0.105
	実績/達成度	0.2 -	0.020 ◎	0.098 ◎
水資源使用量 (m ³ /出荷量)	目標値	数値管理のみ	数値管理のみ	数値管理のみ
	実績/達成度	0.50 -	524.89 -	0.18 -



I think to myself What a wonderful world ...



株式会社エコポート九州

〒861-5274 熊本県熊本市西区新港1丁目4番10

TEL. 096-288-3588 FAX. 096-288-3533

<http://www.eco-port.jp>

